

「伝統話芸・講談」がスミス記念堂に初登場。
歴史を感じる空間で、江戸の一流講釈師の
口演をお愉しみください。



スミス記念堂 納涼講談ライブ

演目紹介 (演目は、当日変更の可能性があります)

神田陽司 (日本講談協会・真打)

上方講談「浪花侠客伝～違袖の音吉」
(なにわきょうかくでん より たがそでのおときち)
上方根多(ネタ)が江戸に伝わった演目。
三侠客の一人「違袖の音吉」の一説。

大学卒業後、エンタテインメント情報誌『シティロード』入社。演劇担当のち副編集長。その間に神田山陽の講談に出会い、退社して入門。以後、山陽の弟子として正当派の講談を学ぶ。講談独自の「修羅場」を含む本格的古典によって鍛え上げられた歯切れのいい口調を駆使して、レポート講談、新作講談(『阪神大震災』『講談ビル・ゲイツ』など)も数多く発表している。

持ちネタ『川中島合戦』『赤穂義士銘々伝』『講談ビル・ゲイツ』『講談インターネット』『坂本龍馬シリーズ』など。



神田鯉風 (日本講談協会・真打)

江戸講談「大岡政談～縛られ地蔵」
(おおおかせいだん～しばられじぞう)
江戸モノの根多(ネタ)・講談十八番「大岡政談」の一幕。
季節に相応しい真夏のドタバタしたお裁きモノ。

平成15年真打に昇進、「鯉風」を襲名。得意ネタは「赤穂義士伝」「大岡政談」等の古典を多数読みこなす他、「鳥人幸吉」や「しっぺい太郎」といった、全国各地の偉人伝や民話に題材をとった鯉風流の「古典仕立ての新作講談」をも多数作り上げる。フルオーケストラとのコラボレーション講談も。

「ひたすら剛速球一本槍! 男ならストレートと真ん中でガチンコ勝負!」。目先の小さな笑いを狙うより、あとに残る感動と迫力を! 「男くささ」こそが講談という。



とき 7月18日(土) 19時開演



ところ スミス記念堂 (国登録有形文化財・近代化遺産)



40名様限定贅沢三昧(先着順) お代は無料。(ご寄付は承り候)



申し込み先 NPO スミス会議事務局 0749-24-8781(9:00～17:00)